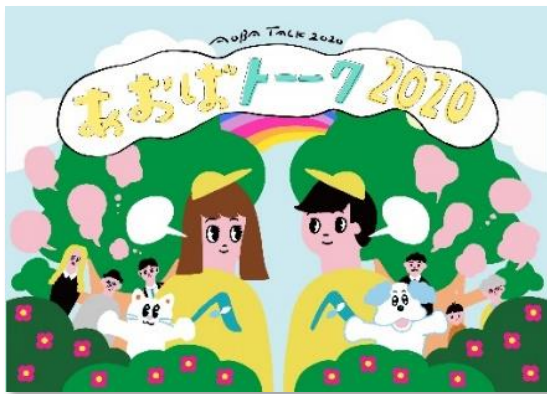


令和元(2019)年度 区民参画イベント 報告書



▲ 青葉区



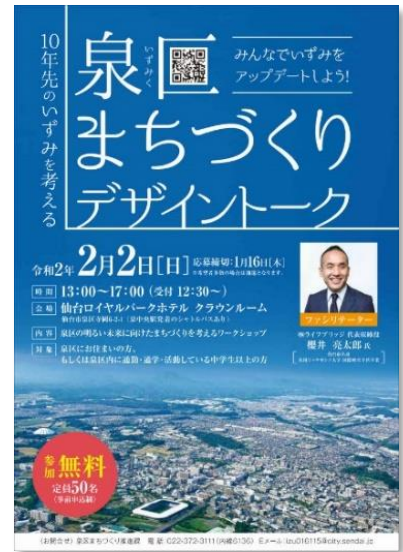
▲ 宮城野区



▲ 若林区



▲ 太白区



▲ 泉区

【青葉区】青葉区の明日を考える「あおばトーク 2020」

1 青葉区民まつり

(1) 開催概要

- 日 時 令和元年 11月3日(日) 10時00分～15時30分
- 場 所 勾当台公園市民広場
- 内 容 「将来どんな青葉区(まち)に住みたい?」に対する意見を“青葉の樹”のパネルに貼ってもらった。
- 意見総数 818件



(2) 参加者の声

・子どもからお年寄りまでイキイキ楽しく暮せるまち	・みんながわかりあえるまち
・元気いっぱいの人がたくさんいる町	・グローバルな仙台にしたい!
・音楽といろいろな活動、元気な舞台の青葉区	・国際交流さかんな町へ
・青葉区が仙台の中心の区でありつづけますように	・健全者と障害者が健やかに過ごせる青葉区を希望します
・みんなにやさしい青葉区にしたい	・異文化を取り入れる町へ
・子供の将来に希望がもてる町	・若者が定着するまち
・子育て支援が充実してほしい	・まちの中心と緑が調和した魅力あるまち
・子供からお年寄りまでみんなが住みやすい町へ!!	・ゴミのないキレイな街であってほしい
・助け合い優しさの溢れる町に住みたい	・学生が活躍して、まちづくりにも参画するまちへ
・笑顔あふれる助け合いの街、青葉区!!	・誰からも好かれる町
・人と人のつながりがあたたかいまち	・安全で安心して暮らせる青葉区
・防災意識の高い、団結力のある高い区になってほしい	・自然と共生できて世界中から観光客がくる魅力的な町



2 青葉区の明日を考える「あおばトーク 2020」

(1) 開催概要

- 日 時 令和2年2月9日(日) 13時30分～16時00分
- 場 所 au SENDAI 2階イベントスペース(一番町三丁目)
- 参加者 37名(～20代 10名/30代 3名/40代 6名/50代 4名/60代 7名/70代 7名)
- ファシリテーター 平山 エリ氏
- 内 容 ワールド・カフェ形式での話し合い



【意見交換1】住みたいまちってどんなまち？

区民まつりで特に多く集まった7つの意見（賑やかなまち、元気なまち、安心なまち、きれいなまち、仲良いまち、優しいまち、楽しいまち）について、それぞれ具体的にどんなまちなのかについて話し合った。



【意見交換2】住みたいまちの作り方

意見交換1で話し合った「住みたいまち」を作るために、自分には何ができるかについて意見交換を行った。

(2) 参加者の声

	【意見交換1】 住みたいまちってどんなまち？	【意見交換2】 住みたいまちの作り方
賑やかなまち	若い人が集い、楽しく暮らせるまち 賑やか＝だれもが幸せで笑顔である 人と人が気軽に話し合えるまち	仙台で学んだ学生が仙台でやりたいことができる環境づくり 産学官連携で町を作る、盛り上げる（SDGs、祭りの協賛） フリーに話し合える場所の提供
元気なまち	地域でのイベントや交流会があるまち 中心都市、ちょっと離れば、いなか。いろんな顔を持っていろんな楽しみ方ができる町 それぞれの年代の人が楽しいと思えるまち 地元の商店街（町の人々）がにぎやか	企画されたものに積極的に参加する SNSで魅力を伝える（自分が実際に楽しむ。友達から友達へ） まちづくり計画を具体的に作る（四季イベント） 買物を地元でする
安心なまち	隣近所が助け合うまち 子どもが楽しくすごせるまち 近くに頼れる人のいるまち 言語の壁を超える	普段から挨拶のできる近所づきあい 子どもたちの見守りを地域でも 「大丈夫（ですか）？」と言える。声掛け 多文化共生 きっかけづくり
きれいなまち	ごみが散らかっていない 道路の舗装が傷んでいない 街路樹が美しい、公園、緑がある 外壁のデザインがGoodに！したいです	定期的にボランティアを集めてゴミ拾い 道路の不具合箇所を見つけたら市役所に知らせる 公園、花壇の手入れを学生や地域の方々が協力して行う ”きれいなまち”と言われているまちをしてみる
仲良いまち	気軽に集える場所がある 何かあった時に助けたり支えあったりできるまち 子どもと高齢者が話したりお互いを見守れるまち	高校生と大学生の居場所づくり 地域の活動に関わる 子どもと高齢者が交流できるイベント！！
優しいまち	外国人・留学生にやさしい町 都市から移住してきた人にやさしい町 子育て世代にやさしいまち	外国人も気軽に参加出来るようなコミュニティの創出 様々な価値観を認め合う 子育ての手当てが充実すること
楽しいまち	会話があふれるまち（笑い声が良い） おまつりのある街 他県からもたくさん人が来てくれるまち	自分から積極的に地域の方とコミュニケーションをとる 文化の伝承 年配者から子供へ 情報の発信 SNS 等



【宮城野区】未来の miyagino を描こう！～宮城野区魅力発見カフェ～

1 開催概要

- 日 時 令和2年2月2日（日） 13時00分～16時00分
- 場 所 宮城野区中央市民センター2階 第一会議室
- 参加者 44名（～10代 17名／20代 5名／30代 6名／40代 2名／50代 5名／60代 6名／70代～ 3名）
- ファシリテーター 浜 知美氏（アリティーヴィー株式会社 副社長、仙台市総合計画審議会委員）
- 内 容

【ラウンドⅠ】トーク・タイム

「震災の伝承・魅力の発信」「支え合い・安心」「元気・活力」をテーマに、それぞれの事例紹介を踏まえ、こうなればいいなど思えるまちの姿について意見を交わしながら、「えんたくん」（円形段ボール）に書き込み



アイデアをどんどん書いて…

【ラウンドⅡ】アート・タイム

- ・各グループ押しアイデアを発表し合い、参加者全員で共有
- ・各々の未来の宮城野区をイメージした自由な発想・夢をかたちにした一枚の大きな絵を制作



夢を絵にして
貼り付けて
いきます



完成した
絵をバックに
記念撮影！

2 参加者の声

- 「未来の miyagino」の絵 ～トーク・タイムで出された夢やアイデアが詰まっています！～



バスツアーマップ



●10年後の宮城野区「こんなまちだったらいいな」

震災の伝承・魅力の発信 ～誰に伝える？どう伝える？海辺の魅力をどうつくる？～	
震災を伝える！	<ul style="list-style-type: none"> ・YouTubeなどのメディアやSNSの活用、語り部の育成 ・震災や避難に関するガイドブックの作成 ・被災地を巡るツアーの開催（サイクリング、バスなどでつなぐ） ・市民や観光客向けの避難体験、当時の再現（VR活用、非常食など）
海辺に新たな賑わいを！	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいづくり（花火、カフェ、海水浴、キャンプ、宿泊施設） ・貞山運河の屋形船、海釣り施設の整備など海辺の活用 ・海辺で震災フェスティバル（夢メッセでのARABAKI ROCK FES、若者向けのイベント等） ・水族館などの集客施設とも連携した被災地&観光ツアーの開催
地域の防災力を高める！	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから始める伝承（防災教育、大人にも伝える） ・仙台市地域防災リーダー（SBL）を通じた伝承、防災力強化 ・避難訓練（定例化、子ども、若者、企業、外国人も一緒に） ・震災時の課題の整理、AEDの浸透（区民皆が助ける勇気を持つ）
支え合い、安心 ～安心して暮らせる地域とは？私はこういうことができるかな？～	
多様性が尊重され、支え合える地域にしたい！	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者（買い物などの生活サポート、働きやすい環境、お祭りや遊びを通じた多世代交流） ・子育て世代（産休・育休後のサポート、夫が育休を取れる環境づくり、子育て関係者のネットワーク化で支え合い、働く女性支援） ・若者（コミセンの活用、学校での地域イベント紹介、子ども110番ツアーで安全に登下校、「学生の日」をつくってイベント開催） ・外国人（英会話や料理教室、オリンピックをきっかけに交流促進）
みんなで集まる機会をつくろう！	<ul style="list-style-type: none"> ・世代を超えて集える場所をつくる（地域のサロン、公園や貸しスペースの活用、仲介役を通じた横のつながりづくり） ・SNSの活用（SNS以外にも頼らない）、会議のデジタル化 ・認知症予防カフェ・介護予防体操、子どもたちが遊べる場所 ・駅周辺環境の充実（カフェ設置や駅のバリアフリー化など） ・市民協働で未来を考えるイベントを継続開催
私はこんなことができる！	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつから始めよう（自分を知ってもらい、安全安心な地域に） ・何でも良いので地域コミュニティの集まりに参加する（誰もが町内会や自治会の担い手になれるように敷居を低くする） ・ボランティア活動をする（ゴミ出し、雪かきなど） ・学校での読み聞かせを通じて子どもたちに顔を覚えてもらう
元気・活力 ～これがあれば楽しめる、元気になれる！～	
楽しいイベントをもっと！	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城野通を歩きたくなる仕掛けづくり（イベント開催、個人経営の店舗の増加、歩行者天国、榴岡公園活用、インスタ映え） ・アートや音楽、食、伝統文化（史跡巡り、すずめ踊り、七夕）を楽しめる企画の充実など、東口から海側まで様々な魅力があるまちに ・駐車場の整備や交通網の整理、災害対策の徹底など、安心して快適に楽しむことができる環境づくり
体を動かす機会をつくろう！	<ul style="list-style-type: none"> ・ランナー向けコースやランニングステーションの整備 ・仙台市陸上競技場や元気フィールドの活用（大運動会の開催、ドームの整備など） ・公園の活用（アスレチック、ウォーキングなどができる場所に）

【若林区】若林未来デザインカフェ パートⅡ ～ミライへStep Up～

1 開催概要

- 日 時 令和2年1月26日（日） 13時30分～17時00分
- 場 所 SENDAI GIGS（荒井東一丁目）
- 参加者 49名 ※中学生・高校生を中心に、概ね30代までの方を対象に募集
（小学生4名／中学生8名／高校生8名／大学生4名／～30代18名／40代～7名）
- ファシリテーター 岩間 友希氏、榊原 進氏（両名とも仙台市総合計画審議会委員）
- 内 容

5名程度でグループを組み、若林らしさについて話し合った意見を「環境・共生・学び・活力」に分類した。次に、議論をしたいテーマを各グループで設定し、どのような街にしたいか夢を描き、実現させる方法を考えた。最後に、これから取り組むことについてそれぞれが考える時間を取った。会場には七郷小学校で作成された未来の街の姿の模型、区内の学校で作成されたいじめ防止の取組みに係る展示物などを掲示し、様々な取り組みを知る機会を提供した。

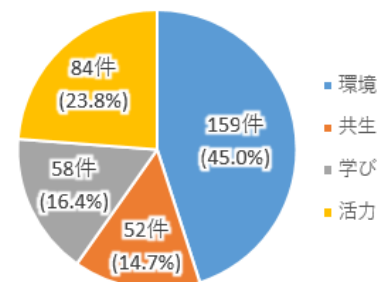


2 参加者の声

I. 若林らしさとは何かを考えよう

出された意見の分類

意見の総数は353件で、環境に関する意見が159件（45.0%）と半分弱を占めていました。続いて、活力が84件（23.8%）、学びが58件（16.4%）、共生が52件（14.7%）となっており、若林区では、環境や活力に関する意見が多い結果となりました。



環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東部には田んぼと居久根が広がり、水辺に親しめる、自然豊かな環境がある。（海、広瀬川、貞山堀、六郷堀、七郷堀、虫の鳴き声、大沼の白鳥、井土メダカ） ・ 交通インフラが充実している（地下鉄東西線、高速道路、仙台東部道路、国道4号）が、地域によっては仙台駅へのバスの本数が少ないなど利便性に差がある。 ・ 農家の直売があるなどお米や野菜などの食べ物がおいしい（曲がりネギ）。 ・ 自転車や車いすで移動しやすい平地が広がり、農道が大切な生活道になっている。他方、狭い通学路や一方通行の多さ、交差点の複雑さなどもある。
共生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のつながりが強く、穏やかであたたかい人、元気な人が多い。 ・ 昔ながらのお店もあるが、病院やスーパーなども充実し住みやすい生活環境がある。 ・ 古い住宅地と新しい住宅地の融合が進んでいる。 ・ 外国籍の人が多く住んでいる。

学び	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが増えているが、学生が学校帰りに立ち寄れる場所や遊びに行けるオシャレな場所、ボール遊びなどができる公園などの場所が少ない。 ・学校が多く近接しており、将来的には東北学院大学も移転してくる。 ・寺や古墳など歴史的な街並みがある（若林城、薬師堂、猫塚古墳、古い町名） ・防災の授業があり、震災を語り継ぐ場所が多い（荒浜小学校、メモリアル交流館）
活力	<ul style="list-style-type: none"> ・東部をはじめとして開発できる余地があり、地下鉄東西線沿線などに新しい街が生まれ、人口が増加している（東部集団移転跡地に大規模観光施設も予定されている） ・地域に根差した様々なイベントがある（薬師堂ボンマルシェ、お薬師さんのでづくり市、新寺こみち市、荒井なないろマルシェ、オモシロ街教室、若林シーサイドマラソン、ツール・ド・東北、猫塚古墳ねこまつり、若林区民ふるさとまつり） ・活力を生む場所がある（中央卸売市場、工業団地、INTILAQ、能-BOX、10-BOX、GIGS）

II. 夢を描き、実現させる方法を考えよう

夢のまちの姿	実現させる方法
<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔があふれる、住みやすい ・地元の人とのつながりがある ・様々な世代が元気に過ごせる ・世代・国を超えて交流できる ・外国人・日本人が共生する 	<p>積極的にあいさつする、ルールやマナーを守る、悪い奴をとりしめる、自分から話しやすい雰囲気をつくる、地域の人とコミュニケーションをとる、イベントに参加する・開催する、ボランティアをする、子どもの成長をあたたく見守る、広報力を強化する、身近な人に情報を伝える、点と点をつなぐ、ネットワークを広げる、職場で異業種交流会を行う、外国人・日本人同士で教え合う、カフェやイベントなど外国人が集まれる場所をつくる、SNSなどで若林の良さを発信する</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが楽しんで教育を受けられることができる ・不登校やいじめなどで学校に来ることができない人も学べる 	<p>若林区版のキッズニアをつくる、新しい技術・知識に触れることができる機会をつくる、学校に来ることができない人のための学校をつくる、動画などを通じて家で学べる・遠隔で授業が受けられるようにする</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化を発信する ・国際的な観光地 ・人が何度もたくさん来る ・「遊びに行くなら若林区」と言われる 	<p>SNSで発信する、知り合いにオススメする、HPを立ち上げる、歴史・文化を学ぶ、アニメ映画を作る、来訪する人の文化も知る、学校の授業をがんばる、他言語を身に付ける、外国語表記を増やす、若林の店をどんどん利用する、ダテバイクを拡充する、「映画館がほしい！」と声をあげる、お店のシャトルバスを出す、海浴いを観光地化する</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・海で盛り上げる ・水都 	<p>深沼海水浴場を復活させる、深沼ビーチクリーンを名物イベントにする・参加者を増やす・ロコミで周知する、ごみを拾いながら海辺の宝物を探す、マイクロプラスチックの除去・削減を世界に発信する、貞山堀で船遊びができる、楽しめる水辺をつくる（海水浴、舟、つり、投あみ）、水辺の環境を美しく保つ</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・その他（自然・災害など） 	<p>五感で自然を味わう、農業体験・園芸ができる、花を植える、鳥が多く集えるようにエサやりや清掃をする、災害の記憶を継承・世界に発信する、暮らしのなかに防災をビルトインする</p>

【太白区】太白みらいサミット～キミこそがまちづくりプランナー～

1 開催概要

- 日 時 令和2年2月16日（日） 13時30分～17時00分
- 場 所 太白区中央市民センター3階 大会議室
- 参加者 46名 ※概ね10代の方を対象に募集
(10代 39名/20代 7名)
- ファシリテーター 青木 ユカリ氏 (せんだい・みやぎNPOセンター常務理事兼事務局長)
- 内 容

参加者は希望する5つのテーマ別に10グループに分かれ、太白区の「魅力」「課題」「10年後の理想」「必要な取り組み」の4つの問いに対する意見交換を通じて、太白区の未来についてグループワークを実施し、意見をまとめた。その後、傍聴者も加わり、各グループワークの結果を自由閲覧する時間を設け、各自が共感する意見やアイデアに「いいね」シールを貼り付け、その結果についても共有した。



2 参加者の声

テーマ	太白区の良いところ（魅力）	太白区の伸びしろ（課題）
地域の賑わいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設、娯楽施設（動物園・遊園地）が充実していて住みやすい ・移動手段が多く、交通の便が良い ・自然が豊かで観光スポットが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の知名度や存在感が足りない ・大型ショッピングモール以外の商業施設が少ない ・交通の便に地域格差がある ・若者向けの観光施設やイベントが少ない
人とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人との関わりが多い ・自然を楽しみながら生活できる ・居住、観光、農業がそろっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市での人との結びつきが弱い ・東西の魅力の結びつきが弱い ・住みやすいが「住みたい」という感じはない
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災活動が活発 ・中学校での復興プロジェクトなど防災教育が盛ん 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所（公共施設）の老朽化 ・土砂災害が起きやすい ・防災意識が低い
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者との交流がある ・保育園や幼稚園が多い ・家族で楽しめるイベントや施設がある（長町秋のフェスティバル・動物園等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・人とのつながりが弱く、マンションは特に近所付き合いが希薄 ・待機児童がいる ・区の人口を活かした助け合いが足りない
高齢者・障害者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモールがあって出かけやすい ・地域に元気な高齢者が多い ・優しい人がたくさんいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業を行っているものの、地区ごとで実施頻度に偏りがある ・坂が多いのに、バスが少ない

テーマ	10年後の理想の太白区	必要な取り組み
地域の賑わいづくり	<p><u>太白区をもっと有名な区に</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人や他県の人たちがたくさん来るようなまち 緑を失わず、町それぞれの特色を生かして発展 <p><u>交通手段の格差がない区</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 東西の地域の人をもっと気軽に交流できるまち 	<p><u>広報力の向上</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 区のPRにもっと力を入れる（インターネットやSNS） 魅力を伝える地域専属Youtuberの育成 <p><u>魅力ある地域資源の発掘・発信</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 「若者から見た太白区」をフリーペーパーやSNSで発信 不要な杉の木を伐採し、観光に有利な紅葉や桜を植える 同じテーマでみんなが話し合う会の定期的な実施 <p><u>公共交通機関の見直し・増設</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 区内のみ巡る交通機関を作る バス停や駅の場所の見直し
人とのつながり	<p><u>人との関係が心地よい区</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 知らない人でも当たり前のように挨拶を交わせる 地域の人気軽に挨拶し、助け合える環境 <p><u>明るく活発な区</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 住民が輝ける活動の場 人が集まりやすいまち 	<p><u>交流の場の創出</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 若者が大人へ、大人が若者へ教えるセミナーの開催 外部コーチとして地域の人に学校に入ってもらい 自分から地域の方へ挨拶する <p><u>地域を越えたつながりの創出</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域のつながりを意識できるコンテンツの創出 気軽に安く泊まれる施設をつくり、新たなつながりを築きやすい環境づくり
防災	<p><u>防災意識が高い区</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 小さい子でも危機意識をもって災害に対処できる 防災グッズの常備が浸透 <p><u>どんなときも安心して暮らせる区</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 近所の危険箇所を地域住民みんなが知っている 避難所での生活を快適に（避難所増設による避難者の分散や潤沢な備蓄） 	<p><u>災害への備えの充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> キャラクターやアイドルなどとコラボした防災バッグの販売 どこにいても近くに避難できる環境づくり（娯楽施設の避難所利用、住宅街に1つ避難所をつくる等） 備蓄倉庫の整備 <p><u>防災を考える機会を増やす</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 土日に避難訓練を実施（ファミリー向け） 実際の事例などを使っての防災ワークショップ 区民まつりで防災ダンス
子育て応援	<p><u>待機児童がほとんどいない区</u></p> <p><u>地域全体で子育てする区</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 年齢関係なく助け合う 人とのつながりが濃い <p><u>子供連れのおでかけが楽しい区</u></p>	<p><u>子育て支援施設の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の会社に保育施設を設置 お寺で子育て教室を行う 「何か困ったらここ」という総合相談所の設置 <p><u>親しみやすい地域コミュニティの形成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 世代を超えた地域コミュニティの形成 昔からある地域の良さを維持したまちづくり <p><u>親子で参加できるイベントの充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> お祭りや気軽に参加できる行事をつくる 母子家庭、父子家庭向けのイベント
高齢者・障害者福祉	<p><u>元気な高齢者が多い区</u></p> <p><u>誰もが安心して暮らせる区</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 互いに助け合うまち ユニバーサルデザインが充実したまち 	<p><u>体を動かす場づくり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者と子供で協力できるスポーツイベント 高齢者用のトレーニングジム <p><u>交流の場づくり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 区ゆかりの食材を使って、みんなで食事する機会づくり 高齢者と子供と一緒に遊ぶ環境づくり（児童館等を利用）

【泉区】泉区まちづくりデザイントーク～みんなでいずみをアップデートしよう！

1 開催概要

- 日 時 令和2年2月2日（日） 13時00分～17時00分
- 場 所 仙台ロイヤルパークホテル クラウンルーム（寺岡六丁目）
- 参加者 45名（10代 5名／20代 9名／30代 8名／40代 6名／50代 8名／60代 8名／70代 1名）
- 総合ファシリテーター 櫻井 亮太郎氏（株式会社ライフブリッジ 代表取締役）
- テーブルファシリテーター 西舘 保宗氏、佐藤 なな子氏、中山 聖子氏、後藤 光正氏、千葉 大貴氏、福田 沙織氏、平真 ゆき子氏、竹下 小百合氏
- アドバイザー 渡辺 一馬氏、氏家 滉一氏、萬崎 泰弘氏、眞野 美加氏
- 内 容

4つのテーマ「安心」「にぎわい」「癒し」「定住」を設定し、参加者が希望するテーマごとに、6名程度で構成するグループを2つ組んで、グループごとに話し合いを行った。話し合いは、
 ①理想とするまちに関するキーワードを出し合いながら、目指すまちの姿として整理する、
 ②その姿を実現するために、伸ばしたい、あるいは改善したい泉区の個性や特徴などを出し合う、
 ③実現に向けた具体の取り組みを話し合う、の3つのステップを踏みながら進めた。最後には、グループごとに提案シートをまとめて発表し、参加者全員で話し合った内容の共有を図った。



2 参加者の声

I. 伸ばしたい、改善したい泉区の個性や特徴など

テーマ	伸ばしたいところ	改善したいところ
安心	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会や子供会などの地域団体の活動や<u>施設の活用</u> ・地域のつながり ・泉ヶ岳を中心とした自然 	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れの環境 ・<u>情報発信</u>、<u>アピール</u> ・泉中央の中心部へのアクセスの悪さ、<u>交通の便</u>
にぎわい	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>公共施設や空間の活用</u> ・長い滞在を促す工夫 ・誰もが集いやすく、参加しやすい交流の場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>公共施設の利便性</u> ・<u>交通の便</u>
癒し	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部と山間部が近接 ・<u>まちの至る所にある自然</u> ・世代間の交流ツールでもある<u>自然</u>を増やす取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の声の取り入れ ・当事者意識の醸成 ・<u>休耕田や空き施設の活用</u> ・<u>情報発信</u>、<u>アピール</u>
定住	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>豊かな自然環境や公園などの公共施設等の活用</u> ・遠望できるきれいな景観 	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi 環境 ・<u>情報発信</u> ・学習スペース ・<u>公共施設等の活用</u> ・官民連携

※下線は、複数のテーマに重複している意見

II. 目指すまちの姿と実現するための取り組み

テーマ	目指すまちの姿	実現するための取り組み
安心	人と人が優しくつながるまち	歩行者天国でフリーマーケット等のイベント（泉中央周辺）：泉中央周辺を歩行者天国にする車のない環境づくりと、フリーマーケット等イベントの同時開催。SNS などでの PR と、コミュニティ Wi-Fi を使った情報発信。 自転車を使ったスタンプラリー：エコな移動手段である自転車を使ったスタンプラリーを開催。まちを知る機会としても活用。
	全世代が気軽に顔を合わせられ、みんなが笑って過ごせるまち	Wi-Fi を使って“つながろう”：泉区民だけが利用できる Wi-Fi の導入や、みんなが関心を持つ情報や専門家からのアドバイスを得やすくする仕組みづくり。 顔を合わせて“つながろう”：居酒屋のようなスペースでのんびりとながれる場を作る。既存の集会所や空き家などを活用して、つながる場の整備やイベントの開催。 集合！泉中央で“つながろう”：人が集まりやすい泉中央で、意見交換できる場づくりや、地区ごとの情報もベストミックスした、泉区からの幅広い情報発信。
	気軽な交流の場づくりが日常のまち	もったいないストリートバザール：エントリー不要とする気軽さや、自宅前でも出店可能な自由さを備えたイベントを開催。場所やテーマを週替わりで開催。物々交換で人のつながりが生まれる工夫。年 2 回程度は七北田公園や区役所で大きなイベントとして展開。
	駅徒歩 3 分の自然!! 七北田公園を活用したにぎわいのあるまち	七北田公園に人が集まる機会をつくらう：キャンプやバーベキューなど、現地調達可能な川の活用。広範囲でダテバイクを利用できる環境の整備。近隣商業施設などと連携した特典付きマップの作製など、商業施設や公共交通をもっと利用する仕組みづくり。
癒し	自然を楽しめるまち	七北田公園に大型駐車場を作る：七北田公園で色々な自然体験ができるよう環境を整備。 無料で使える施設を自分たちで作る：愛着を深められるよう、アスレチック施設や温泉など、無料で利用できる施設や環境を自分たちでつくる。 体験の場で報酬を得られる仕組みづくり：農業体験を通じた労力提供の報酬として農作物の支給を受けるなど、体験を通じて報酬を得られる環境をつくる。 地域と学校とをつなげる活動：将来、自分たちの子どもに自然の良さを伝えられるよう、地域と学校と一緒に活動する場をつくる。
	安心して楽しみながら定住し、自然に親しみやすいまち	全世代に情報を伝える手段 いずみく魅力まちづくり調査隊：サークルづくりや地元を発信できるガイドの育成、泉区をめぐるツアーを企画。 泉区の自然 100 選と表示の整備
	あそび・暮らすきっかけのあるまち	きっかけ：遊び、暮らし、子育てなどを総合的に発信する SNS やホームページを市民協働でつくる。市政だよりを見直す。 区役所前に泉区っぽいカフェ 集会所や市民センターをもっと開かれた場に：Wi-Fi の整備や、ソファやハンモックなどで居たくなるような場所をつくる。 既存施設のアップデート：昔ながらの手法ではなく、子どもたちが戻ってきたくなるよう、ソフト面、ハード面ともにアップデート。 新区役所が熱い！：マスコミに注目される妄想区役所を官民一体でつくり、アップデートした中身を新区役所に集約。
定住	すべての人に便利なまち Re 活用でみんな HAPPY	地域の集会所や公園をリノベーションして多目的化：カフェへの利用や、子どもを遊ばせている間に用を足せるようなサービスの提供、インターネットを活用し勉強できる環境をつくる。小学校などの空き教室をリノベーションして民間に開放。 人と自然をつなぐ新しい交通システム：大規模公園や泉ヶ岳を連絡するトラムや電気バスなどの交通システムを構築。

